議事３
資料１

横浜スタジアム左翼棟エントランス完成に伴う装飾広告の設置について

2020.2

YOKOHAMA DeNA BAYSTARS

左翼棟エントランスの懸垂幕 設置位置と施工方法

2020.1.6関内駅側からの全景

スロープ下歩道より

建物のフレーム部分に金物を取り付け、その上に懸垂幕を設置。懸垂幕の素材は風通しの良いメッシュターポリンの予定ですが、さらに安全面を考慮し、台風や強風時には懸垂幕を降ろすことができる装置の設置を検討中です。

掲出内容

※こちらはイメージです

YOKOHAMA STADIUM
8
KAMIZATO
8
KAMIZATO
14
ISHIOR
14
ISHIOR
YOKOHAMA STADIUM
TICKETS
TICKETS
©清水建設株式会社一級建築士事務所

左翼棟下　新設チケット売場用　「残券情報表示板」表示案

※モニターテレビ
（65or55インチ横置き）

※モニターテレビ（65インチ(サイズH900×W1500)）を設置。
※内容…チケット残件・売切れ状況等　（野球施設として必要な情報のみ）。
※表示モニターが大きくないため分割(全て固定画像)し表示
※表示が複数ページになる場合は表示間隔を定め運用。（10秒間隔など）
※画面を外部には向けない。動画は一切なし

日程・対戦カードに各券種毎に残件情報(○△×)をリアルタイムに表示

議事３
資料２

事業者提案に対する市の考え方

（横浜スタジアム左翼棟エントランス装飾広告等）

東京 2020 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ野球競技のメイン会場である、横浜スタジアムでは、現在増築・改修工事が進められ、間もなく竣工します。

今回、新たな施設が完成することに合わせて、プロ野球シーズン中に左翼棟エントランス（JR 関内駅側）に屋外広告物を掲出しようとするものです。

事業者提案に対する市の考え方等を以下に示します。

１. 横浜公園における景観形成の考え方と野球興業に関連する物件の設置について

横浜公園は、関内地区景観協議地区において、地区別の指針がありませんが、景観協議にあたり、横浜公園の景観形成については、以下のように考えています。

・歴史ある横浜公園との調和した、品格ある景観を形成する。

・遊具広場、日本庭園、散策路など、市民の憩いの場に相応しい落ち着いた空間を保全する。

・公園施設を利用した催事の装飾等においても、華美な演出を避ける。

特に、野球興業に関連する物件の設置については、慎重に景観協議を行い、シンプルなデザインで大きさを最小限とすることや、日本大通りの見通し景観を阻害しない位置や横浜スタジアムが背景となる位置に設置することなどを求めています。

２．事業者提案に対する市の考え方

事業者の提案は、今回、球場が完成したことを踏まえ、来場者を迎え入れる演出したいというものです。

完成したエントランスは JR 関内駅側であり、日本大通りや遊具広場、日本庭園から離れており、比較的、横浜公園の品格や落ち着きある公園環境を阻害しない位置です。事業者の提案内容も、構造物の梁柱をほぼ隠すことのない規模で、デザインも白と青を基調としたシンプルなものであると考えます。

なお、今回の物件掲出にあわせ、例年行っていた照明柱への物件掲出を取止め、メリハリをつけて公園空間との調和を図るという点についても評価しています。

また、合わせて設置するデジタルサイネージも、規模が小さく、表示内容も残チケット情報等静止画であり、歩行者には見えにくい位置に設置するため、景観上支障ないものと考えます。

３．今後の対応について

今回、広告幕を掲出することのできる設備が設置されます。今回の物件以外にも掲出される場合には、景観上支障がなく、横浜スタジアムを適切に演出していることを確認した上で、掲出の許可等、必要な手続きが行えるものとします。